



ふりがな 氏名	かのう けんすけ	都道府県	愛知県	
	<b>加納 健介</b>			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校法人尾張学園 豊田大谷高等学校 / 教諭</li> <li>・環境教育インストラクター</li> </ul>			
私のESD活動	教室から世界へと視野を広げる活動をしています			
関心・活動のSDGs				

## 活動の概要

### ①世界一大きな授業への参加

2016年度と2018年度に現代社会などの授業の一環として参加をしました。世界の貧富の格差について知るアクティビティを行い、どのような支援が必要かを生徒に考えさせました。

### ②愛知サマーセミナーでのESD講座の実施

2015年度より4年連続で講座を開いている。50年後の望ましい社会を参加者がワークショップを通じて考える機会を提供したほか、今年度は参加者が考える未来像がSDGsのどの目標に該当するのかを知るアクティビティを行った。勤務校の生徒や他校の生徒や保護者、一般市民の方々に参加をしていただき、「現代社会における様々な課題について知ることができた」、「課題の解決のために協力をしていく必要がある」等の参加者からの感想をいただいています。

### ③地産地消でのお菓子作り

2016年度の勤務校での文化祭にて「地産地消」をテーマとしてカフェを出店した。担当クラスの生徒に地産地消、地域の食材にどのようなものがあるかを調べさせました。そのうえで地元産の卵や小麦粉などを用いたお菓子を作り、文化祭で販売して地元産の農作物についての認知度を高めました。

・「豊田大谷高校 HP『世界一大きな授業』」 <http://toyotaotani.owari.ac.jp/news/?p=19551>

・「愛知サマーセミナー-HP『ESD 講座』」 <http://samasemi.heteml.jp/flex/php/SearchClass.php?ex=1&ev=20&g=36&p=1&i=1017>

## 今後の活動の展望と周囲や社会への還元

①活動の発展・・・理想としては前任校で取り組んでいたような活動をしていきたいです。ユネスコ・スクールの登録校だったので、年間プログラムの中で様々な活動に生徒が取り組むことできていました。

今取り組んでいる活動を基礎として、活動を広げ・深めていきたい。具体的には学校の教育活動にESDおよびSDGsに関する取り組みを組み込むことです。教科目標への明記、総合的な学習の時間での実施、サステナビリティの活動を学内で推進していくための組織づくりを行っていきたいです。現状のような一過性で終わってしまうような取り組みではなく、継続的にプログラムを行っていくための基盤を作りたい。

②周囲や社会への還元・・・まずはESDの有用性を周囲に理解してもらえるように取り組みたいです。ESDそのものの認知度もまだ高いとは言えないので、どのようなものなのかを知ってもらい、なぜ取り組む必要があるのかをしっかりと話せるようになっていきたいです。特にまずは自分が所属する教科部会が最優先課題かと思えます。

いざ組織をあげてESDに取り組めるようになることで、持続可能な社会を形成していくための人づくりができると思います。